

万感胸に 市内中学校で卒業式

3月11日、市内全ての中学校で卒業式が行われ、224人が学び舎を巣立ちました。新型コロナウイルス感染症の影響による休校措置など、さまざまな困難を乗り越えてきた今年度の卒業生。式当日は好天に恵まれ、晴れやかな門出となりました。

稲垣中学校では、保護者や在校生らが見守る中、工藤勝昭校長から25人に卒業証書が手渡されました。2年生の白川瑠華さんは卒業生に向け「いつまでも私たちの手本となって輝く姿を見せてください」と送辞。卒業生代表・尾野ほの花さんの答辞では、先生や在校生、両親に感謝の気持ちを伝え「皆さまへの感謝とこれまでの経験、出会いを胸に、大きな夢へ前進していきます」と力強く誓いました。



3/11 稲垣中学校

卒業証書を受け取る生徒

世界遺産登録目前 「地域の人に関わってこそ」

3/15 旧制木造中学校講堂



御所野縄文博物館長の高田さん

「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されるのを前に「JOMONつがる市世界遺産フォーラム」が開催され、約60人の市民が講演に耳を傾けました。

フォーラムでは、遺跡の保存や活用の先進地である岩手県一戸町・御所野縄文博物館長の高田和徳さんが講師として登壇し、取り組み事例を紹介したほか、NPO法人三内丸山縄文発信の会の佐藤史隆事務局長らと交え「遺跡の保存と活用・観光客対応について」と題したトークセッションが行われました。

高田さんは「遺跡は宝として地域の人に関わってこそ価値がある。ここにしかない遺跡の特徴をPRし、登録後は遺跡を訪れ何かを感じてくれる人が増えてくれれば、それが地域の活性化につながる」と力を込めました。

住民主体の地域づくりを考える

オンラインセミナー「縮む社会と向き合う地域運営のポイント」が開催され、市民ら約70人が、これからの共助・自治のあり方について考えました。

セミナーでは、弘前圏域移住交流デザイナーの野口拓郎さんが、他自治体の地域づくりの事例を紹介。野口さんは「住民主体の地域おこしには、小さな成功体験の積み重ねが大切」と話していました。

続いて、住民参加型地域づくりの第一人者であるNPO法人IHOEの川北秀人代表が基調講演。市内の人口分析を踏まえ、人口減少と一人暮らしの後期高齢者が増えることによる地域の衰退に警鐘を鳴らし「災害時などの安心のため、地域が自ら現状を理解し、住民主体の地域づくりをしていきましょう」と呼びかけました。



3/18 松の館

松の館と稲垣ふれあいセンターをオンラインでつないだセミナー。その様子をYouTubeでも配信

副市長に今正行氏が就任

1月1日から不在となっていた副市長の職に、今正行氏が就任しました。
今副市長は、富蒔町出身の59歳。中里高校を卒業後、旧車力村役場に入庁。つがる市合併後は、車力学校給食センター所長、総務課長などを経て、平成29年4月から令和3年3月31日まで総務部長を務めました。
今後4年間、副市長として倉光市長をサポートし、市の組織が行う事務を監督する役割を担います。

【任期】 令和3年4月1日～令和7年3月31日



教育委員に平田昌子氏

任期満了に伴い、平田昌子氏が教育委員に再任しました。

【任期】

令和3年3月31日
～令和7年3月30日



監査委員に台丸谷績氏

任期満了に伴い、台丸谷績氏が監査委員に就任しました。

【任期】

令和3年4月1日
～令和7年3月31日



選挙管理委員長に成田照男氏、職務代理者に今久夫氏

任期満了に伴い、4人の選挙管理委員会委員が決定し、成田照男氏が委員長、今久夫氏が職務代理者、黒滝亨氏と須藤誠造氏が委員に就任しました。【任期】 令和3年3月30日～令和7年3月29日



成田
照男氏



今
久夫氏



黒滝
亨氏



須藤
誠造氏

行政相談をご利用ください

総務省より、令和3年4月1日付けで、行政相談委員5人が委嘱を受けました。任期は2年間です。
※行政相談の日程等については、広報つがるに掲載されます（今月号は23ページ）。



【木造地区】
片山 徳明氏



【森田地区】
原田 和孝氏



【柏地区】
木村 光雄氏



【稲垣地区】
佐々木 富雄氏



【車力地区】
鎌田 常芳氏

【問い合わせ先】市民課 電話42-2111(内線266)